

時を超え甦る 芦屋釜の魅力

2025 11月30日(日)

と き： 開場 11:30
呈茶 11:30~13:20
講演 13:30~15:00

場 所：九州電力(株)大分支店 2F ホール

〒870-0026 大分県大分市金池町2丁目3番4号

TEL: 097-537-8029

お問合せ：茶道裏千家大分支部

TEL: 097-538-6217 FAX: 097-538-6218

※参加人数に限りがございます。



新郷 英弘氏 プロフィール

2001年から「芦屋釜の里」学芸員として芦屋釜の復興に努む。主に考古学の分野で、古くから「釜」として知られる「釜」の歴史や、その製造技術について研究。著書に『釜と金工品』、淡交2024年11月号特集掲載など、数多くの執筆も手がける。

国指定重要文化財の茶の湯釜9点の内、8点を芦屋釜が占めています。南北朝時代頃(14世紀半ば頃)から筑前国芦屋津金屋で造られた芦屋釜は「真形」という端正な形と、胴部に表される優美な文様が京の貴人達に好まれました。その製作は江戸時代初期頃に途絶えましたが、近年技術継承に取り組み復興を遂げました。その立役者となった芦屋釜の里館長の新郷氏をお迎えし、重要文化財をはじめとする芦屋釜の魅力をお話しいたします。



芦屋釜の里 HP
大分支部HP

